

令和6年（2024年）3月7日

“移民大国”日本について考えるシンポジウムを開催 ～YU-COE(M)「移民社会における多文化共生研究拠点」主催～

【本件のポイント】

- 令和3年（2021年）度に人文社会系の研究者を中心とした分野横断型の研究拠点として、YU-COE（山形大学先進的研究拠点）(M)「移民社会における多文化共生研究拠点」を立ち上げました。3年目となる本年度がYU-COE(M)としての活動の最終年度となります。
- 本拠点では、これまでの活動の総括も兼ねて、「移民大国」日本の現状を知り、今後の方策を考えるシンポジウム「移民大国日本の現在地」を3月14日（木）に開催します。
- シンポジウムでは、これまでの拠点の活動により構築したネットワークを駆使し、多彩な研究者を講師に招き基調講演を行います。また、移民の研究を行っている大学院生による研究発表も行います。



【概要】

人口減少が不可逆的に進む一方で外国人労働者が急増する日本社会に「共存」への知見を提供すべく、令和3年度から人文社会系の研究者を中心とした分野横断型の研究拠点として、YU-COE(M)「移民社会における多文化共生研究拠点」を立ち上げました。今年度は本拠点が最終年度となることを受けて、これまでの活動の総括も兼ねて、「移民大国」日本の現状を知り、今後の方策を考えるシンポジウム「移民大国日本の現在地」を3月14日（木）に開催します。

【開催要項】

- ・日 時 / 2024年3月14日（木）13:00～18:00
- ・会 場 / 山形大学小白川キャンパス 人文社会科学部1号館103教室
- ・構 成 /
 - 第1部 移民受け入れと社会的統合（13:00～15:40）
 - 基調講演（13:00～14:40）
 - ① 是川夕（国立社会保障・人口問題研究所）「日本における移民受け入れ、及び社会統合の現状について」
 - ② 佐々木てる（青森公立大学）「国籍の社会学：国家の成員資格と複数国籍制度を中心に」
 - ③ 吹原豊（福岡女子大学）「エスニック・コミュニティの成立と発展：茨城県大洗町における事例」
 - コメント・質疑応答（14:50～15:40）
 - コメンテーター：伊藤豊（山形大学）・日野原由未（岩手県立大学）・西川慧（石巻専修大学）
 - 第2部 移動・移住プロセスと在日コミュニティ形成：ミャンマー人の事例から（15:50～17:00）
 - 研究発表（15:50～16:30）
 - ① 渡辺彩加（京都大学大学院）「タイ国境地域におけるミャンマー人不法滞在者、難民、移民のあいだー2021年クーデターを契機に移動した人々に着目して」
 - ② ピーピョミツ（東京大学大学院）「在日ミャンマー人組織の変遷ー1988年～2024年」
 - コメント・質疑応答（16:30～17:00）
 - コメンテーター：ナンマヤケーカイン（京都精華大学）
 - 第3部 総合討議（17:10～18:00）
- ・対 象 / 一般・学生 ※参加無料・申し込み不要

お問い合わせ：小幡圭祐（学術研究院准教授（人文社会科学部主担当）
・YU-COE(M)「移民社会における多文化共生研究拠点」拠点リーダー）
メール：obata@human.kj.yamagata-u.ac.jp

参加
無料
申し込み不要

移民大国 日本の現在地

日時

2024 **3.14** THU 13:00~18:00

会場

山形大学小白川キャンパス
人文社会科学部 1号館 103教室



第1部

移民受け入れと社会的統合

〈13:00~15:40〉

●基調講演 〈13:00~14:40〉 ●コメント・質疑応答 〈14:50~15:40〉

1 日本における移民受け入れ、及び社会統合の現状について

是川 夕 氏 (国立社会保障・人口問題研究所)

2 国籍の社会学：国家の成員資格と複数国籍制度を中心に

佐々木 てる 氏 (青森公立大学)

3 エスニック・コミュニティの成立と発展：茨城県大洗町における事例

吹原 豊 氏 (福岡女子大学)

コメンテーター

- 伊藤 豊 氏 (山形大学)
- 日野原 由未 氏 (岩手県立大学)
- 西川 慧 氏 (石巻専修大学)



第2部

移動・移住プロセスと在日コミュニティ形成：

ミャンマー人の事例から 〈15:50~17:00〉

●研究発表 〈15:50~16:30〉
●コメント・質疑応答 〈16:30~17:00〉

1 タイ国境地域におけるミャンマー人不法滞在者、難民、移民のあいだ—

2021年クーデターを契機に移動した人々に着目して

渡辺 彩加 氏 (京都大学大学院)

2 在日ミャンマー人組織の変遷 1988年~2024年

ピーピョミツ 氏 (東京大学大学院)

コメンテーター

- ナンミャケーカイン 氏 (京都精華大学)

第3部

総合討議

〈17:10~18:00〉

各発表を踏まえて総合討議を行います。

主催／YU-COE (M) 移民社会における多文化共生研究拠点

共催／科研費基盤研究(A)「ゾミア2.0：「東南アジア」と「南アジア」の境域における開発・民族・宗教」

移民大国日本の現在地

2024年3月14日（木） 山形大学小白川キャンパス 人文一号館103教室

日本はすでに、在留外国人が322万人、外国人労働者200万人（2023年6月時点）が暮らす、移民大国です。移民の急速な増加により、過去10年で外国人が倍以上増えた自治体は全国で280市町村に上ります。しかし外国人住民の増加は、全国各地で均一に進んでいるわけではなく、産業や業種によって状況に広い幅があります。また、都市と地方のあいだでは規模も体制も大きく異なります。これまで歴史的に外国人労働者の数が全国で最も低いレベルであった東北では本格的な調査も議論もまだこれからという状態です。本シンポジウムでは移民の受け入れと社会統合について、国内外から知見を集め、私たちの社会の課題と展望を提示します。

開会挨拶と趣旨説明：今村真央（山形大学）13:00-13:05

第1部 移民受け入れと社会的統合 13:05-14:50

報告：13:00 - 14:50

司会：今泉智子（山形大学）

① 是川夕（国立社会保障・人口問題研究所）13:05-13:50（45分）

「日本における移民受け入れ、及び社会統合の現状について」

② 佐々木てる（青森公立大学）13:50-14:15（25分）

「国籍の社会学：国家の成員資格と複数国籍制度を中心に」

③ 吹原豊（福岡女子大学）14:15-14:40（25分）

「エスニック・コミュニティの成立と発展：茨城県大洗町における事例」

休憩 14:40 - 14:50（10分）

質疑応答：14:50 - 15:40

司会：小幡圭祐（山形大学）

・コメンテーター 伊藤豊（山形大学）、日野原由未（岩手県立大学）、西川慧（石巻専修大学）（およそ8分ずつ）

休憩 15:40 - 15:50（10分）

第2部：移動・移住プロセスと在日コミュニティ形成：ミャンマーの事例から 15:50 - 17:00

① 渡辺彩加（京都大学大学院総合生存学館）15:50 - 16:10（20分）

「タイ国境地域におけるミャンマー人不法滞在者、難民、移民のあいだー2021年クーデターを契機に移動した人々に着目して」

② ピーピョミツ（東京大学総合文化研究科 多文化共生・統合人間学プログラム）

「在日ミャンマー人組織の変遷ー1988~2024年」16:10 - 16:30（20分）

質疑応答：16:30 - 17:00

・コメンテーター：ナンミャケーカイン（京都精華大学）（およそ8分）

休憩 17:00 - 17:05（約5分）

第3部：17:05 - 18:00

総合討議 司会：中村篤志（山形大学）

開会挨拶：飯塚博（山形大学） 18:00

主催：山形大学 移民社会における多文化共生研究拠点 (<https://yu-imin.labby.jp/>)連絡先：<https://yu-imin.labby.jp/access>